



システム メッセージの概要

このマニュアルでは、Catalyst 3750-E および 3560-E 固有のシステム メッセージについて説明します。これらのメッセージは稼働中、システム ソフトウェアからコンソール（および任意で別のシステムのログイン サーバ）に送信されます。すべてのシステム メッセージがシステムの問題を意味するわけではありません。純粹に通知目的のメッセージもあれば、通信回線、内蔵ハードウェア、またはシステム ソフトウェアの問題を診断するうえで役立つメッセージもあります。このマニュアルでは、システムで障害が発生した場合に表示されるエラー メッセージについても説明します。

Catalyst 3750-E および 3560-E プラットフォーム固有ではないシステム メッセージについては、Cisco IOS Release 12.2S に対応する『*Cisco IOS Software System Messages*』を参照してください。

この章の内容は次のとおりです。

- [システム メッセージの読み方 \(p.1-2\)](#)
- [エラー メッセージ トレースバック レポート \(p.1-6\)](#)

システムメッセージの読み方

システム ログ メッセージは最大 80 文字と 1 つのパーセント記号 (%) で構成され、設定されている場合にはその前に、オプションとしてシーケンス番号またはタイムスタンプ情報が付加されず。メッセージは次の形式で表示されます。

シーケンス番号: タイムスタンプ: % ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: 記述 (ホスト名 -n)
(Catalyst 3750-E スイッチの場合のみ)

シーケンス番号: タイムスタンプ: % ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: 記述 (Catalyst 3560-E スイッチの場合のみ)

システム メッセージ出力はデフォルトで、ロギング プロセスに送信されます。スイッチ スタックでは、スタック メンバーがシステム メッセージ出力に各自のホスト名を追加し、スタック マスター上のロギング プロセスに出力を転送します。

各システム メッセージはパーセント記号 (%) から始まります。構造は次のとおりです。

% ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: メッセージテキスト

- ファシリティは2つ以上の大文字からなるコードで、メッセージによって参照されたファシリティを示します。ファシリティはハードウェア デバイス、プロトコル、またはシステム ソフトウェア モジュールのいずれかを指します。表 1-1 に、Catalyst 3750-E および 3560-E 固有のファシリティ コードを示します。第 2 章「メッセージおよび回復手順」で、ファシリティ コードのアルファベット順、重大度の高い (数字が小さい) エラーから先に、各メッセージについて説明します。

表 1-1 ファシリティ コード

| ファシリティ コード | 説明 | 参照先 |
|------------------|--------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| ACLMGR | Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) マネージャ | 「ACLMGR メッセージ」 (p.2-3) |
| BACKUP_INTERFACE | Flex Link | 「BACKUP_INTERFACE メッセージ」 (p.2-9) |
| BADTRANSCEIVER | 障害トランシーバ メッセージ (Catalyst 3750-E スイッチの場合のみ) | 「BADTRANSCEIVER メッセージ」 (p.2-9) |
| BSPATCH | ブート ローダー パッチ | 「BSPATCH メッセージ」 (p.2-10) |
| CFGMGR | 設定マネージャ (Catalyst 3750-E スイッチの場合のみ) | 「CFGMGR メッセージ」 (p.2-11) |
| CMP | Cluster Membership Protocol | 「CLS_ACC メッセージ」 (p.2-14) |
| DHCP_SNOOPING | DHCP スヌーピング | 「DHCP_SNOOPING メッセージ」 (p.2-22) |
| DOT1X | IEEE 802.1x | 「DOT1X メッセージ」 (p.2-27) |
| DOT1X_SWITCH | スイッチ用 IEEE 802.1x | 「DOT1X_SWITCH メッセージ」 (p.2-31) |
| DTP | Dynamic Trunking Protocol (DTP; ダイナミック トランキング プロトコル) | 「DTP メッセージ」 (p.2-35) |
| DWL | Down-When-Looped | 「DWL メッセージ」 (p.2-37) |
| EC | EtherChannel | 「EC メッセージ」 (p.2-38) |
| ETHCNTR | イーサネット コントローラ | 「ETHCNTR メッセージ」 (p.2-44) |
| EXPRESS_SETUP | Express Setup | 「EXPRESS_SETUP メッセージ」 (p.2-46) |
| FRNTEND_CTRLR | フロントエンド コントローラ (Catalyst 3750-E スイッチの場合のみ) | 「FRNTEND_CTRLR メッセージ」 (p.2-47) |
| GBIC_SECURITY | GBIC モジュールおよび Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュール セキュリティ | 「GBIC_SECURITY メッセージ」 (p.2-48) |

表 1-1 ファシリティコード (続き)

| ファシリティコード | 説明 | 参照先 |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| GBIC_SECURITY_CRYPT | GBIC および SFP モジュール セキュリティ | 「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」 (p.2-50) |
| GBIC_SECURITY_UNIQUE | GBIC および SFP モジュール セキュリティ | 「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」 (p.2-52) |
| HARDWARE | ハードウェア | 「HARDWARE メッセージ」 (p.2-53) |
| HLFM | ローカル フォワーディング マネージャ | 「HLFM メッセージ」 (p.2-56) |
| IGMP_QUERIER | Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) クエリア | 「IGMP_QUERIER メッセージ」 (p.2-58) |
| ILPOWER | Power over Ethernet (PoE) | 「ILPOWER メッセージ」 (p.2-60) |
| IMAGEMGR | イメージ マネージャ (Catalyst 3750-E スイッチの場合のみ) | 「IMAGEMGR メッセージ」 (p.2-65) |
| IP_DEVICE_TRACKING | IP デバイス トラッキング | 「IP_DEVICE_TRACKING メッセージ」 (p.2-67) |
| MAC_LIMIT | Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレス テーブル エントリ | 「MAC_LIMIT メッセージ」 (p.2-68) |
| MAC_MOVE | ホスト アクティビティ | 「MAC_MOVE メッセージ」 (p.2-69) |
| PHY | PHY | 「PHY メッセージ」 (p.2-70) |
| PIMSN | Protocol Independent Multicast (PIM) スヌーピング | 「PIMSN メッセージ」 (p.2-72) |
| PLATFORM | 下位レベル プラットフォーム 固有 | 「PLATFORM メッセージ」 (p.2-73) |
| PLATFORM_ENV | プラットフォーム環境 | 「PLATFORM_ENV メッセージ」 (p.2-75) |
| PLATFORM_FBM | プラットフォームのフォールバック ブリッジング マネージャ | 「PLATFORM_FBM メッセージ」 (p.2-83) |
| PLATFORM_HPLM | プラットフォームの疑似ラベル マネージャ | 「PLATFORM_HPLM メッセージ」 (p.2-84) |
| PLATFORM_IPC | プラットフォームのプロセス間通信プロトコル (Catalyst 3750-E スイッチの場合のみ) | 「PLATFORM_IPC メッセージ」 (p.2-85) |
| PLATFORM_PBR | プラットフォームの Policy-Based Routing (PBR; ポリシーベース ルーティング) | 「PLATFORM_PBR メッセージ」 (p.2-87) |
| PLATFORM_PM | プラットフォームのポート マネージャ | 「PLATFORM_PM メッセージ」 (p.2-90) |
| PLATFORM_RPC | プラットフォームのリモート プロシージャ コール (Catalyst 3750-E スイッチの場合のみ) | 「PLATFORM_RPC メッセージ」 (p.2-92) |
| PLATFORM_SPAN | プラットフォームの Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) | 「PLATFORM_SPAN メッセージ」 (p.2-95) |
| PLATFORM_UCAST | プラットフォームのユニキャスト ルーティング | 「PLATFORM_UCAST メッセージ」 (p.2-96) |
| PLATFORM_VLAN | プラットフォームの VLAN (仮想 LAN) | 「PLATFORM_VLAN メッセージ」 (p.2-99) |
| PM | ポート マネージャ | 「PM メッセージ」 (p.2-100) |
| PORT_SECURITY | ポート セキュリティ | 「PORT_SECURITY メッセージ」 (p.2-110) |
| QOSMGR | QoS マネージャ | 「QOSMGR メッセージ」 (p.2-112) |
| RMON | Remote Network Monitoring (RMON) | 「RMON メッセージ」 (p.2-119) |

表 1-1 ファシリティコード (続き)

| ファシリティコード | 説明 | 参照先 |
|------------------|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| SDM | Switch Database Manager (Catalyst 3750-E スイッチの場合のみ) | 「SDM メッセージ」 (p.2-120) |
| SPAN | SPAN | 「SPAN メッセージ」 (p.2-121) |
| SPANTREE | スパニングツリー | 「SPANTREE メッセージ」 (p.2-122) |
| SPANTREE_FAST | スパニングツリー高速コンバージェンス | 「SPANTREE_FAST メッセージ」 (p.2-131) |
| SPANTREE_VLAN_SW | スパニングツリー VLAN スイッチ | 「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」 (p.2-131) |
| STACKMGR | スタック マネージャ (Catalyst 3750-E スイッチの場合のみ) | 「STACKMGR メッセージ」 (p.2-132) |
| STORM_CONTROL | ストーム制御 | 「STORM_CONTROL メッセージ」 (p.2-135) |
| SUPERVISOR | スーパーバイザ Application-Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け集積回路) | 「SUPERVISOR メッセージ」 (p.2-136) |
| SUPQ | スーパーバイザ キュー | 「SUPQ メッセージ」 (p.2-137) |
| SW_DAI | ダイナミック ARP インスペクション | 「SW_DAI メッセージ」 (p.2-139) |
| SW_MACAUTH | MAC アドレス認証 | 「SW_MACAUTH メッセージ」 (p.2-143) |
| SW_VLAN | VLAN マネージャ | 「SW_VLAN メッセージ」 (p.2-145) |
| SWITCH_QOS_TB | QoS 信頼境界 | 「SWITCH_QOS_TB メッセージ」 (p.2-152) |
| TCAMMGR | Ternary Content Addressable Memory (TCAM) マネージャ | 「TCAMMGR メッセージ」 (p.2-153) |
| UDLD | UniDirectional Link Detection (UDLD; 単方向リンク検出) | 「UDLD メッセージ」 (p.2-155) |
| UFAST_MCAST_SW | UplinkFast パケット転送 | 「UFAST_MCAST_SW メッセージ」 (p.2-157) |
| VQPCCLIENT | VLAN Query Protocol (VQP) クライアント | 「VQPCCLIENT メッセージ」 (p.2-158) |

- 0～7の1桁のコードで、状態の重大度を表します。数字が小さいほど深刻な状況です。表 1-2 に、メッセージの重大度を示します。

表 1-2 メッセージの重大度

| 重大度 | 説明 |
|------------|--------------------|
| 0 — 緊急 | システムが使用不可能な状態 |
| 1 — アラート | ただちに対応が必要な状態 |
| 2 — クリティカル | クリティカルな状態 |
| 3 — エラー | エラー状態 |
| 4 — 警告 | 警告状態 |
| 5 — 通知 | 正常だが注意を要する状態 |
| 6 — 情報 | 単なる情報メッセージ |
| 7 — デバッグ | デバッグ時に限り表示されるメッセージ |

- ニーモニックは、メッセージを一意に識別するコードです。
- メッセージテキストは状態を説明したテキスト文字列です。メッセージのこの部分には、端末ポート番号、ネットワークアドレス、またはシステムメモリアドレススペースの位置に対応するアドレスなど、イベントの詳細情報が含まれることがあります。この可変フィールドの情報はメッセージごとに異なるので、ここでは角カッコ ([]) で囲んだ短い文字列で示します。たとえば 10 進数は [dec] で表します。表 1-3 に、メッセージの可変フィールドを示します。

表 1-3 メッセージの可変フィールドの表記

| 表記 | 情報のタイプ |
|---------|----------------------------------|
| [dec] | 10 進整数 |
| [char] | 1 文字 |
| [chars] | 文字列 |
| [enet] | イーサネットアドレス (たとえば 0000.FEED.00C0) |
| [hex] | 16 進整数 |
| [inet] | インターネットアドレス |

マスター スイッチ以外の Catalyst 3750-E スイッチが生成した Syslog メッセージは、必ず (*Switch-x*) で終わります。*Switch-x* は、メッセージを生成したスタック メンバーの番号です。マスター スイッチが生成した Syslog メッセージは、ホスト名の文字列なしで表示されます。

次の例は、Catalyst 3750-E スイッチ以外のスイッチのスイッチ システム メッセージの一部分です。

```
00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/2, changed state to up
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet0/1, changed
state to down 2 *Mar  1 18:46:11: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2
(10.34.195.36)
18:47:02: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
*Mar  1 18:48:50.483 UTC: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2
(10.34.195.36)
```

次の例は、Catalyst 3750-E スイッチ スタック内のスタック マスターおよびスタック メンバー スイッチ (ホスト名は *Switch-2*) に対応するスイッチ システム メッセージの一部分です。

```
00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/2, changed state to up
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet1/0/1,
changed state to down 2
*Mar  1 18:46:11: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
18:47:02: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
*Mar  1 18:48:50.483 UTC: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2
(10.34.195.36)

00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up (Switch-2)
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/1, changed state to up
(Switch-2)
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/2, changed state to up
(Switch-2)
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
(Switch-2)
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet1/0/1,
changed state to down 2 (Switch-2)
```

エラーメッセージトレースバックレポート

メッセージの中には、内部エラーが記述され、トレースバック情報が含まれているものがあります。この情報は非常に重要です。テクニカルサポートの担当者に問題を報告するときに、必ず提出してください。

次のメッセージ例にはトレースバック情報が含まれています。

```
-Process= "Exec", level= 0, pid= 17  
-Traceback= 1A82 1AB4 6378 A072 1054 1860
```

システムメッセージによっては、エラーメッセージをコピーしたうえでさらに対応を要求される場合があります。次のオンラインツールからシステムエラーメッセージの詳細を得ることもできます。

Output Interpreter

Output Interpreter は、**show tech-support** 特権 EXEC コマンドなど、さまざまな CLI（コマンドライン インターフェイス）コマンドの出力に基づいて、詳細情報および推奨する対応策を提供します。Output Interpreter には、次の URL からアクセスしてください。

<https://www.cisco.com/cgi-bin/Support/OutputInterpreter/home.pl>

Bug Toolkit

Bug Toolkit は、解決済みまたは未解決の問題点に関する情報を提供します。特定の Cisco IOS リリースで既知のバグをすべて検索できます。Bug Toolkit には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/home.pl>

TAC への連絡

エラーの種類を特定することができない場合は、「[テクニカルサポート](#)」(p.xiii) を参照してください。